

資料 2 - 3

中部様式

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成 1 9 年 4 月 1 日設置

令和 6 年 6 月 2 6 日 フィーダー系統 確保維持計画 策定

評価対象の地域公共交通確保維持事業

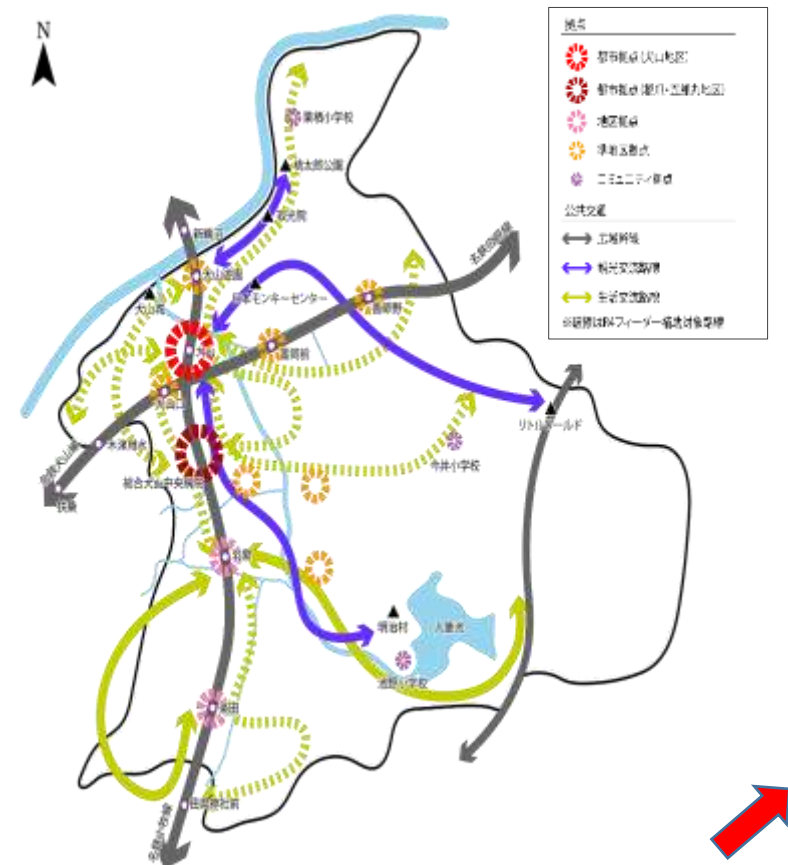
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

【本市の目指す姿・方向性】

公共交通が支える安心で快適な暮らし みんなつながるまち

市内の移動サービスの位置づけと役割

犬山市の公共交通ネットワークイメージ



フィーダー補助関連

位置付け	対象路線	路線の役割	確保・維持策
広域幹線	名鉄犬山線 名鉄広見線 名鉄小牧線 東鉄バス	都市間を結ぶ広域的な移動を担う	<ul style="list-style-type: none">交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する関係市町や犬山市が共同で利用促進を図る
観光交流路線	岐阜バス 明治村線 リトルワールド・モンキーパーク線 名鉄バス (紅葉ルートバス)	市中心部や拠点と主要観光施設間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none">交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する交通事業者と観光施設、市が連携して利用促進を図る
生活交流路線	わん丸君バス 楽田西部線 入鹿・羽黒線 朝便栗栖線 朝便今井線	住宅団地と市中心部・主要施設間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none">市が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する市が利用促進を図る
	わん丸君バス 楽田東部線 善師野・塔野地線 内田線 栗栖・富岡線 上野線 今井・前原線		<ul style="list-style-type: none">市が主体となって需要に応じた運行水準を確保する必要があるが、事業者及び市の運営努力だけでは路線の維持が困難であり、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用が必要である。安全運行のため耐用年数が経過した車両については、地域公共交通確保維持事業（車両減価償却等国庫補助金）等補助金を活用して買い替えを行う。市が利用促進を図る
個別輸送	タクシー 福祉輸送	他の公共交通でカバーできない部分の移動を担う	<ul style="list-style-type: none">交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する交通事業者と市が連携して利用促進を図る

公共交通事業の取組み

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。

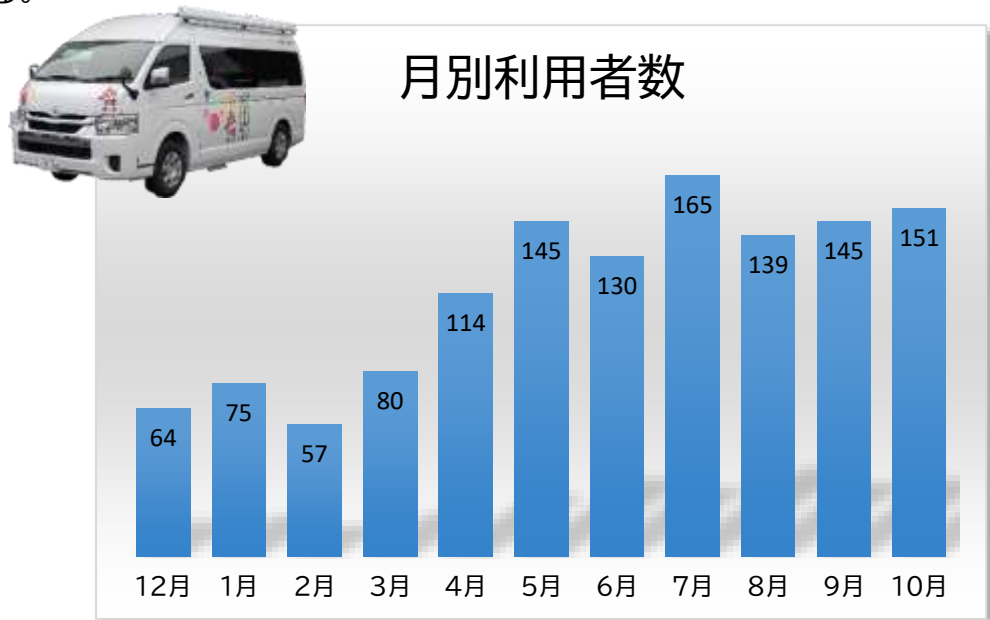


【取組み①】 公共ライドシェアの実施

岐阜バス「明治村線」減便により沿線住民の通勤・通学に支障が生じたため、道路運送法第78条第2号による自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）を実施。

また、運行管理及び車両管理を交通事業者が行う「事業者協力型自家用有償旅客運送」として実施することで、公共交通の確保・維持に向けて交通事業者と連携を図っている。

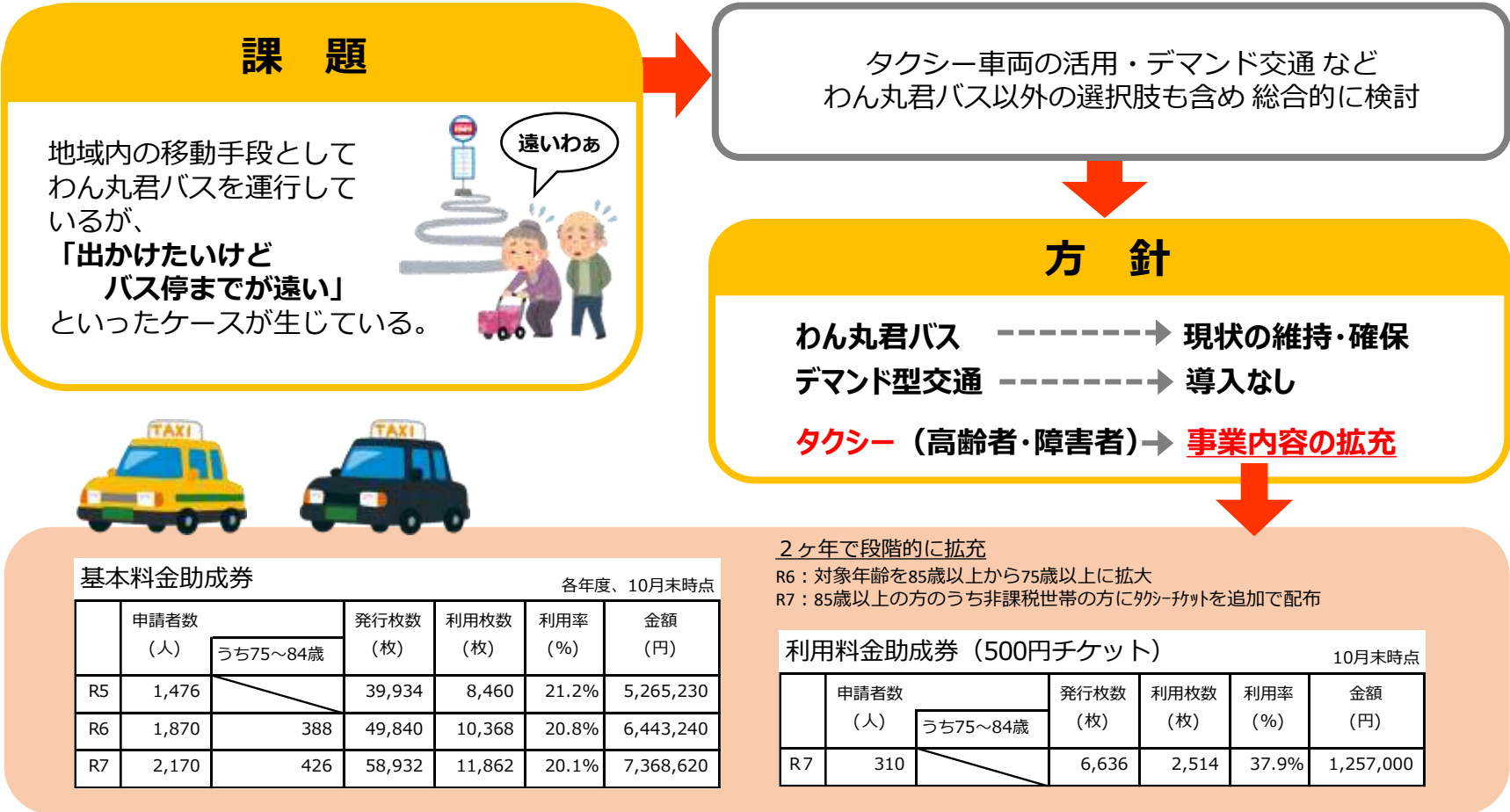
実施日	R 6. 1 2. 2～
運行形式	定時定路線運行
運行時間	朝：6:00～7:30 夜：18:00～19:30 ※朝夜に生じる交通空白時間帯
車両	ハイエース1台
運転手	普通1種免許所持者 ※市が募集し、交通事業者が雇用
運賃	1乗車300円



【取組み②】 「総合的な公共交通についての検討」の実施

地域公共交通計画の策定をきっかけとして、犬山市にとっての公共交通施策を総合的に検討した。検討にあたっては、交通担当課だけではなく、他部署（福祉・高齢者担当）や事業者（タクシー会社・デマンド交通システム会社など）も含めて多角的に議論を行った。

検討の結果、高齢者を対象としたタクシーチケット助成事業を段階的に拡充することで、わん丸君バスが運行できないエリアのカバーを図ると共に、既存の公共交通（タクシー）を活用し、公共交通の利用者数の利用促進を図った。



鉄道会社の取組み

名古屋鉄道株式会社



★各季にキャンペーンを実施

犬山市の観光関連のポスターを車内や鉄道各駅に掲示し、鉄道利用促進を図った。
また、R4年度からは通年キャンペーンとして展開し、年間を通じて犬山のPRを行っている。

R6.9.1～R7.2.28
通年キャンペーン（秋冬版）

R6.12.20～R7.2.28
冬の犬山キャンペーン

R7.3.1～R7.8.31
通年キャンペーン（春夏版）

R7.7.15～R7.8.31
夏の犬山キャンペーン



★ブランディング

犬山市内に2つのホテルを開業したことを機に、
犬山の新シリーズ広告をスタート。
ポスターや特殊広告を車内や鉄道主要駅に掲示し、
鉄道利用促進を図っている。

犬山市への来訪者が増加することにより、
わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

路線バス会社の取組み

岐阜乗合自動車株式会社



観光ハイシーズンにおけるリトルワールド・
モンキーパーク線の増便を実施

通常はモンキーパークを経由地として1台で運行しているが、GW期間中については、2台に分けてそれぞれ直行便として運行した。

通常：22便/日 → GW期間：44便/日



「こどもmanacaお出かけキャンペーン」
の実施

小児用manacaで岐阜バスに乗車すると、乗車運賃分のうちmanacaマイレージポイントで1乗車あたり最大200ポイント還元される。

実施日：R 7.8.1～9.30



犬山市への来訪者が増加することにより、
わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも寄与している。

タクシー会社の取組み

名鉄西部交通株式会社



タクシー配車アプリの全車導入



タクシー配車アプリである「CentXアプリ」と「GOアプリ」を全車に導入したことにより、利用者の利便性の向上およびタクシー車両の効率的な活用が可能となり、犬山市内でのタクシーの利用頻度が向上した。



観光等を目的とした犬山市への来訪者が、タクシーを呼ぶ時にタクシー会社の電話番号や現在地を確認する作業が省略され、スムーズにタクシーを利用していただけようになり、移動の活性化に貢献している。



犬山市への来訪者が増加することにより、
わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

路線バス関連の取組み

わん丸君バス

【取組み①】 デジタルチケットの導入

地域特性としてマイカーの保有率が高く、日常生活でも車で移動する方が多い。その結果、移動手段の選択肢として公共交通の優先順位が低くなっている。

商業施設と連携し、わん丸君バス利用者に特典を提供できる取り組みを実施することにより、何となく車を利用している方が公共交通を利用するきっかけを作った。

販売開始日	R 7. 3. 3～
金額	大人200円 小学生100円
購入方法	アプリ（my route）にて、事前に電子決済で購入

◆購入特典

商業施設と連携を図り、レシートとクーポン画面の提示で特典を受け取る仕組みとした。

店名	特典
犬山キャスタ	犬山キャスタ内で3,000円以上購入するとお買物券（100円券）プレゼント
バロー犬山楽田店	1,000円以上購入するとティッシュ1箱プレゼント



購入実績

35件 ※R7.10末時点

わん丸君バス
1日乗車券

犬山コミュニティバス
(わん丸君バス)
1日乗車券
大人 200円
小学生 100円

このアプリで
買える、乗れる

my route

わん丸君バス乗車券を1日に何度も
繰り返し利用できる1日乗車券と
犬山市内の指定店舗で利用できる特典
クーポンがセットになっています！

バス利用者に高齢者が多いことから利用は少ないが、引き続き販売することで、観光客等新たな利用層の拡大を図る。

【取組み②】 意見交換会や出前講座の実施

市民アンケート調査の結果では、わん丸君バス自体の認知度は高いが、路線やダイヤはわからないとの回答が多い。
時刻表や路線図を配布するだけでなく、バスで行ける施設や行き方を含めてPRすることで、利用促進を図る必要がある。



今井地区意見交換会

開催日：R 7. 1. 2 1

会 場：今井ふれあいセンター

参 加：約 3 0 名

今井地区の住民、コミュニティバスの充実を求める会、あおい交通(株)、犬山市



■あおい交通(株)様協力のもと、意見交換会後、乗り方講座も併せて実施した。


出前講座（日の出団地）

開催日：R 7. 1. 2 4

会 場：日の出住宅集会場

参 加：約 2 0 名

日の出住宅の住民、犬山警察署、犬山市



■犬山警察署協力のもと、免許返納の手続きについての講演も実施した。

地域独自の課題や利用目的を把握することができた。今後とも関係団体と連携して各地域で実施し、利用促進につなげていく。

【取組み③】 バスロケーションシステムの広域化（実証実験）

近隣市町で同じバスロケーションシステムを使用しているが、運用が各市町ごとのため、バスを乗り継ぐ利用者にとっては利便性が低い状況にある。各市町のバスロケーションシステムを統合し、広域化を図ることで利用者の利便性の向上を図る。

実証期間	R 7. 9. 1 5 ～ 1 2. 1 5
対象市町	小牧市・北名古屋市・豊山町・大口町・犬山市
サイトで確認できる概要	<ul style="list-style-type: none">・各市町のコミュバスの基本情報・マップ上で位置、遅延、空席状況・隣接市町への接続が可能な停留所



【取組み④】 わん丸君バスの産業振興祭での出展

産業振興祭にてわん丸君バスを展示し、自由に乘ってもらうことで、わん丸君バスの認知度向上を図ると共に、公共交通への親しみを持ってもらう。

◆産業振興祭

R6.10.12(土)

犬山市市民文化会館にて

※来場者は約5,000人



自由に車内へ入ってもらい（運転席での写真撮影可）、乗り方やコミュニティバス事業全般についての説明を実施した。また、バスクイズも実施し、バスに関する情報を周知することができた。

【取組み⑤】 「公共交通の運転手さんへの絵手紙」作品展

公共交通について関心を持ってもらうために、夏休み期間の「児童生徒作品募集」にて絵手紙の募集をしたところ、多くの作品が集まったため、作品展を開催した。

期 間 : R6.12.13(金)～26(木)




場 所 : 犬山市役所 1階 市民プラザ

展示枚数 : 37枚



市役所1階の正面玄関前で開催したため、多くの方に見てもらうことができた。



【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>タクシー車両による満車対応</p> 	<p>わん丸君バスが満員に達した際、タクシー車両を活用することにより、目的のバス停まで運行することで利便性の増進を図る。</p>	<p>R 6. 1 0～R 7. 9</p> <p>満車件数：1 5 件 タクシー乗車：3 1 人</p>	<p>紅葉シーズンの栗栖・富岡線において満車となる頻度が多い。栗栖・富岡線については、路線の関係で13人乗りの車両で運行しているため、観光利用と重なると満車が生じやすい。観光部署との連携を図っていく必要がある。</p>
<p>紅葉期間中の増車対応</p> 	<p>紅葉期間中に度々満車となる栗栖・富岡線について、追走対応することで、利用者の利便性を図る。</p>	<p>R6.11.25～29の5日間</p> <p>利用者数：7 3 人</p>	<p>実施期間中はすべての利用者が乗車することができた。しかし、自由に増車できるわけではないため、天候や紅葉のピークの他にメディアの状況にも注視して実施日を決める必要がある。</p>
<p>あいち県民の日無料乗車</p> 	<p>「あいち県民の日」における小中学生の外出にあたり、移動手段の選択肢を増やす。</p>	<p>R 6. 1 1. 2 2</p> <p>利用者数：2 6 人</p>	<p>「県民の日学校ホリデー」に実施。小中学校の休業日は市町村によって異なるため、対象者は少ないが、一定の利用があり、移動手段の選択肢を増やすことにつながった。</p>

【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
小中学生無料乗車 	モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生を対象に長期休暇中の無料乗車を実施。乗車の機会を設け、わん丸君バスへの親しみを深めてもらうと共に公共交通の利用促進を図る。	◆令和6年冬休み 利用者数：64人 ◆令和7年春休み 利用者数：187人 ◆令和7年夏休み 利用者数：538人	コロナ禍においては、利用が減少していたが、回復してきている。 子供だけの利用も多いため、バスの乗り方だけではなく施設への行き方等の周知も行っていくことで、利用促進を図っていく。
期日前選挙無料乗車 	投票率向上及びわん丸君バスの利用促進を図るために、期日前選挙期間に無料乗車を実施する。	～衆議院議員選挙～ R6. 10. 16～25（5日間） 利用者数：57人 ～参議院議員選挙～ R7. 7. 4～18（11日間） 利用者数：84人	期日前選挙の投票所までの移動手段として機能させることができた。 今後も継続して実施していく。
多子多胎世帯支援事業 （わん丸君バス無料乗車） 	犬山市多子多胎世帯子育て支援事業におけるメニューの1つ。多子世帯の経済的支援や育児負担の軽減を図る。併せて、わん丸君バスの乗車機会を増やし、利用促進につなげる。	R4. 4. 1～ 利用者数 R4：1,013人 R5：1,107人 R6：1,649人	利用が増加傾向にあり、多子世帯の経済的支援やわん丸君バスの利用促進に寄与している。今後は、無料乗車券を配布する際に乗り方等の周知をし、更なる利用者の増加を図っていく。

【まちづくりと連携した公共交通ネットワーク】※鉄道・岐阜バス・わん丸君バス・タクシーの年間利用者数

地域公共交通計画策定時（R 4 年度）の現況値：9, 9 8 3, 7 4 2 人／年
⇒ 目標値（R 1 0 年度）：1 1, 6 8 0, 0 0 0 人／年

★鉄道（名古屋鉄道） ※市内各駅の乗降者数

	R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)
犬山駅	5,643,893	5,603,243	+40,650
犬山遊園駅	534,117	490,468	+43,649
犬山口駅	826,331	811,646	+14,685
富岡前駅	298,823	300,336	△1,513
善師野駅	580,927	581,260	△333
羽黒駅	1,211,745	1,184,190	+27,555
楽田駅	1,198,239	1,174,448	+23,791
計	10,294,075	10,145,591	+148,484

★わん丸君バス ※各路線の乗降者数

補助対象路線	R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)
栗栖・富岡線	12,526	13,197	△671
上野線	18,431	17,451	+980
今井・前原線	19,376	21,429	△2,053
楽田東部線	5,631	5,499	+132
善師野・塔野地線	13,575	14,251	△676
内田線	12,640	13,126	△486
補助対象外路線	R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)
楽田西部線	7,393	8,964	△1,671
入鹿・羽黒線	20,004	20,432	△428
朝便栗栖線	482	246	+236
朝便今井線	789	92	+697
計	110,747	114,687	△3,940

★岐阜バス ※「明治村線」・「リトルワールド・モーターパーク線」

	R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)
明治村線	142,649	136,985	+5,664
リトルワールド・モーターパーク線	56,699	45,433	+11,266
計	199,348	182,418	+16,930

★タクシー ※犬山タクシー(株)の利用者数

	R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)
犬山タクシー(株)	113,109	99,190	+13,919

★全体

R 6 年度(人)	R 5 年度(人)	増減(人)	※目標値(人)
10,717,279	10,541,886	+175,393	11,680,000

★結果

コロナ禍以降、増加傾向にあるが目標値には達していない。
今後も様々な需要が見込まれる中で、利用ニーズに対応したサービスを実施し、利用促進を図っていく必要がある。

【快適な乗り継ぎ環境】※乗継利便性向上に資する取り組み件数

R4年度
0 件

※地域公共交通策定時

やるべきこと

- ①乗り継ぎを考慮したダイヤの見直し
- ②主要バス停の待合環境整備
- ③乗り継ぎに必要な運行情報の提供
- ④キャッシュレス決済の導入
- ⑤駐車場・自転車等駐車場の維持・確保

実施したこと

- デジタルチケットの導入
- バスロケーションシステムの広域化
- タクシー配車アプリの全車導入

3 件実施

目標
R10年度までに
5 件

順調に事業を実施できている。わん丸君バスについて、高齢化等により、バス停の待合環境や乗り継ぎのダイヤ等利用者のニーズが多様化しているため、今後はソフト面での利便性の向上に努めていく必要がある。

【すべての関係者の連携・協働】※関係者が連携・協働した取り組み件数

R4年度
0 件

※地域公共交通策定時

やるべきこと

- ①公共交通の乗り方教室の開催
- ②転入者への公共交通情報の提供
- ③エコ通勤・エコ通学の促進
- ④運転免許返納者への支援
- ⑤商業・観光施設と連携した公共交通利用者特典の提供
- ⑥公共交通を利用した観光ルートを紹介
- ⑦公共交通への愛着の向上
- ⑧関係者のパートナーシップの強化
- ⑨運転手不足解消に向けた取り組み

実施したこと

- 今井地区意見交換会(①⑧)
- 運転免許返納者支援事業(④)
- デジタルチケット購入特典(⑤)
- 雑誌KELLYへ特集記事掲載(⑥)
- 産業振興祭でのバス出展(①⑦)
- 日の出団地出前講座(①④⑧)
- 児童生徒の絵画展(⑦)
- 高齢者タクシー補助の拡充(④)

8 件実施

目標
R10年度までに
9 件

関係者と連携・協働し、各種事業を実施できている。引き続き事業を進めるが、利用者数の確保・増進だけではなく、持続可能な公共交通とするため、運転手不足解消に向けた取り組みも実施していく。

4.【Act】計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。

★公共交通全体での方向性の検討

【課題①】

地域公共交通計画にて、わん丸君バスを生活交流路線として位置付けしているが、地域ごとに移動特性が異なるため、適材適所のサービスを提供する必要がある。

【対応】

新たな交通手段も視野に入れて わん丸君バス以外の選択肢を検討し、公共交通の維持・確保・活性化に努める。

(例)

岐阜バスの減便 → 公共ライドシェア実施
わん丸君バスが運行できないエリア → タクシー補助 など

【課題②】

コロナ禍以降、公共交通全体の利用者は増加傾向にあるが、持続可能な公共交通とするためには、利用者だけでなく担い手の確保も必要となる。

【対応】

交通事業者等と連携し、運転手不足解消に向けた取り組みを実施することで、担い手の確保を図ると共に、公共交通の維持・確保を図る。

(例)

仕事を知ってもらう → 広報での特集記事 など

★わん丸君バスの利用促進

【課題③】

高齢化等により移動ニーズが多様化する中で、利用者数の維持・確保に向けての利便性の向上を図る必要がある。

【課題④】

更なる利用者の確保のため、現在わん丸君バスを利用していない人に対して情報発信と利用促進を図る必要がある。

【対応】

令和8年12月のわん丸君バス再編に向けて、商業施設等と連携し、利用者の利便性向上を図る取り組みを実施し、利用者数の維持・確保を図る。

(例)

- ・商業施設への乗り入れ
- ・運賃等の見直し

【対応】

時刻表・路線図の配布や広報掲載だけではなく、バスで行ける施設などを積極的にPRし、利用促進を図る。

(例)

- ・出前講座や乗り方教室の実施
- ・利用者特典の提供

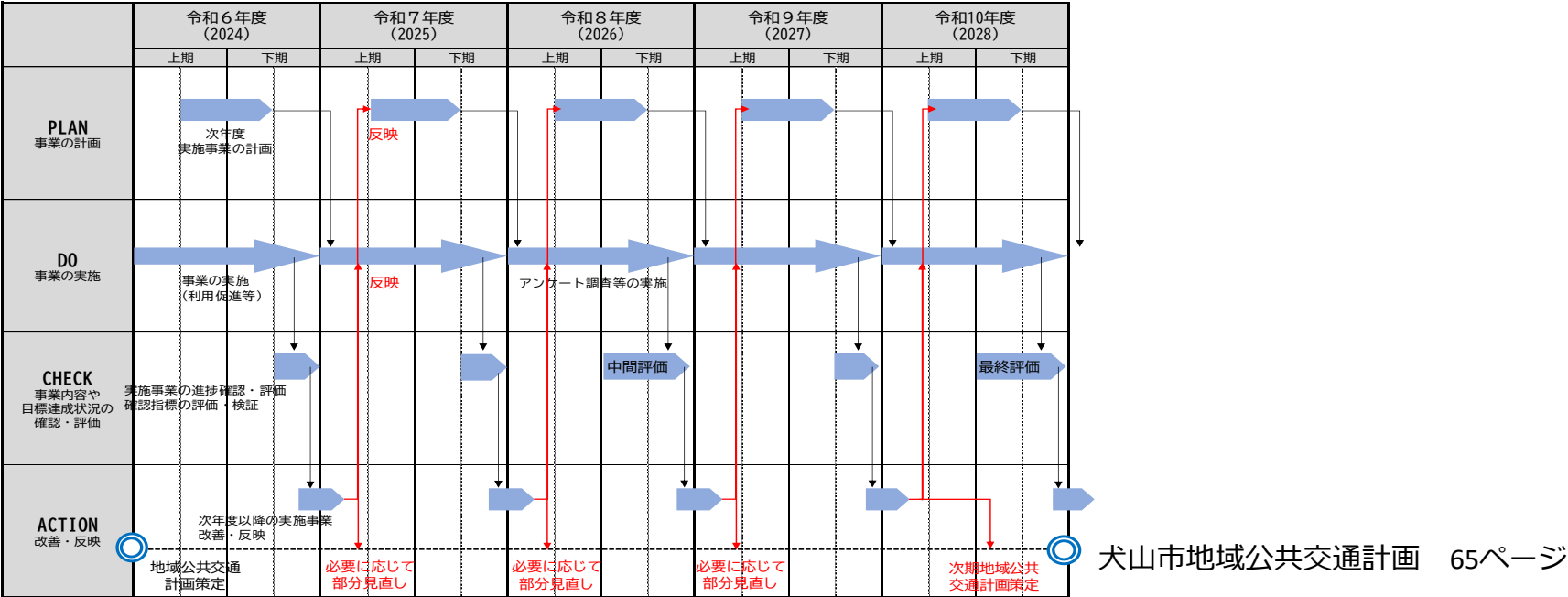
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	地域公共交通会議の開催にあたっては、構成員、特に交通事業者と緊密に連携し、市内の公共交通の状況を適時把握され、交通空白が生じないよう、地域旅客運送サービス継続実施計画の活用を検討するなど、早期に見直しを行える体制を構築されるよう期待します。	交通事業者と連携を図り、岐阜バス「明治村線」減便の代替措置として、道路運送法第78条第2号による自家用有償旅客運送を事業者協力型にて実施しました。	引き続き、地域公共交通会議の構成員と連携を図り、公共交通の状況の把握に努めます。また、交通空白地域の移動ニーズに対応した移動手段を、わん丸君バス以外の交通サービスも含めて調査・研究していきます。
	公共交通の確保維持にあたっては、運転者不足や運転者に係る働き方改革の動向も踏まえながらフォローアップされることを期待します。	わん丸君バスについて、運転者の労働環境改善の一環で、食事場所やトイレの確保について商業施設と調整を図りました。	持続可能な公共交通に向けて、運転者不足解消に向けた取り組みを、交通事業者等と協力して実施します。
	地域公共交通計画について、地域の公共交通の状況や利用者・住民のニーズを把握した上で、公共交通ネットワークの再編等に応じた見直しを図ることを期待します。	バス停まで遠い等わん丸君バスでのカバーが困難なケースに対応するため、高齢者のタクシーチケットを段階的に拡充しました。	令和8年12月にわん丸君バスの再編を予定しています。再編にあたっては、アンケート調査等で地域の移動ニーズを把握した上で、検討を実施します。
	観光地という特性も踏まえ、観光施設、商業施設等各種主体と連携し、引き続き公共交通の情報発信と利用促進に取り組まれることを期待します。	商業施設と連携を図り、わん丸君バスのデジタルチケットの購入特典を提供してもらいました。	次回のわん丸君バス再編において、商業施設への乗り入れを検討し、利便性の向上を図ります。

※前回：令和7年3月27日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	観光地という地域特性も踏まえ、地域公共交通計画に位置づける乗り継ぎに配慮したダイヤ設定や乗り継ぎに関する分かりやすい情報提供等により、公共交通ネットワークとしての利便性向上や更なる利用者の増加につなげることを期待します。	①外国人観光客への対応として、令和5年12月の再編時に、バス停表示に停留所名をローマ字表記しました。 ②G T F Sデータを活用し、新たに「駅すばあと」でも経路検索ができるようになりました。 ※従来より、「ジョルダン」・「NAVITIME」・「Googleマップ」での検索が可能	公共交通計画に従って事業を実施し、快適な乗継環境や地域のニーズに対応した交通サービスの確保・維持に努めます。また、持続可能な公共交通として大規模災害時も想定し、交通分野での災害協定の締結を目指すなど、安全・安心な公共交通も推進します。
	バス教室等の実施やバスで行ける施設等に係る情報発信など、連携・共創の下、地域の方や観光客に公共交通を知ってもらう、使ってもらう取組が継続されることを期待します。	①「乗り方教室」を、市が実施する出前講座にメニュー化しました。 (直近で1件の申込みがありました。) ②民間団体である「コミュニティバスの充実を求める会」と連携し、地域での意見交換会やバス教室を実施し、情報発信を強化します。	バス教室等の情報発信については、わん丸君バスに関する更なる周知を図るため、開催数の増加に努めます。 また、開催にあたっては、市単独ではなく、交通事業者や民間団体等と連携・協働して実施することで、持続可能な公共交通の確保に努めます。

※前々回：令和6年3月21日

【PDCAの推進体制】



【直近1年の協議会の実施日程】

日程	議事内容	日程	議事内容
令和6年 12月20日	・ 令和6年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について	令和7年 10月3日	・ 公共ライドシェアの継続について ・ わん丸君バス再編について
令和7年 6月20日	・ 犬山市地域公共交通計画の一部修正について ・ 地域公共交通計画認定申請書（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）(案)について ・ わん丸君バス再編について	令和7年 12月19日	・ 令和7年度犬山市地域公共交通会議予算について ・ 令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について ・ わん丸君バス再編について ・ 公共ライドシェア(日中)の実施について